



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年10月30日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東
 コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 利行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 本多 純二 TEL 03-5476-4853
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	145,315	4.2	15,139	4.1	14,638	△3.7	9,699	△17.3
2019年3月期第2四半期	139,484	6.1	14,547	△4.2	15,199	△0.7	11,729	9.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 6,968百万円 (7.5%) 2019年3月期第2四半期 6,481百万円 (△41.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	94.06	90.66
2019年3月期第2四半期	112.59	108.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	302,312	163,447	53.5	1,570.04
2019年3月期	284,842	160,690	55.7	1,538.96

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 161,705百万円 2019年3月期 158,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	31.00	-	31.00	62.00
2020年3月期	-	31.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	292,000	1.1	30,000	4.0	29,500	2.5	20,200	△2.7	195.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－ 、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	107,508,954株	2019年3月期	107,508,954株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,514,765株	2019年3月期	4,330,549株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	103,127,197株	2019年3月期2Q	104,173,941株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業の生産活動が弱含み状態であり、外需の低迷が継続する等、全体として足踏み感があり、先行きも不透明感が増している状況であります。海外に目を転じますと、中国経済は、外需の低迷が続いているほか、民間固定資産投資、インフラ投資が足踏み状況であり、昨年までのデレバレッジ政策の影響により内需の回復にも遅れが生じている状況にあります。欧州経済については、ユーロ圏ではサービス業等、一部の業種において堅調であるものの、自動車生産の低迷が長期化し、製造業が不振な状態である等、全体的に減速基調にあります。英国では、Brexitに対する先行き不透明感が残り、成長ペースは減速傾向にあります。他方、米国においては、堅調な個人消費が下支えになり経済に底堅さが見られたものの、通商面での不確実性を背景に企業マインドは悪化が見られました。このように世界経済は全体的に減速傾向にあり、中国のデレバレッジ政策、貿易摩擦の広がりなど複数のマイナス要因が世界景気の押し下げに作用している状態にあります。

当社グループの主要顧客であります自動車メーカーにつきましては、日本市場では、対前年同期比で生産販売台数の増加が見られました。一方、海外におきましては、中国市場、米国市場及び欧州市場では、生産台数、販売台数ともに前年割れの状況となっています。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比4.2%増の1,453億1千5百万円となりました。

利益面では、米国子会社の業績回復等による売上総利益率の改善及び国内における管理可能経費削減の取り組み等による販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は前年同期比4.1%増の151億3千9百万円となりました。経常利益は為替差損の影響等により前年同期比3.7%減の146億3千8百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却損の計上等により、前年同期比17.3%減の96億9千9百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては自動車生産台数の増加に加えて、新型車への当社製品1台あたり搭載金額が伸びたことにより売上利益の拡大に貢献しました。一方、海外においては、中国を始めとするアジア及び欧州における前年度割れがあったものの、北米では前年を上回ったため、全体としては前年同期比で増収となりました。利益面では、中国を始めとするアジア及び欧州における売上高が減少した子会社において利益の減少があったものの、親会社における固定費の抑制、及び業績不振であった海外子会社の業績回復等により、前年同期比で若干の増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比3.7%増の1,321億1千6百万円となり、セグメント利益につきましては、前年同期比0.4%増の157億3百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においては消費増税を前にした駆け込み需要、ホテルでの入替需要が牽引し、アジアにおいては、中国を中心にホテル及び小売向けが伸びたことにより、増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のベッド及び家具事業売上高は前期比9.6%増の131億3千1百万円となりました。セグメント利益につきましては、前期比18.0%増の20億6千2百万円となりました。

今後に関しては、国内では卸・ホテル等、既往取引先様との協力関係の強化を行うとともに、「シモンズギャラリー東京」を活用し、より良い睡眠を提供する企業として発信してまいります。また、アジアでは中国小売り網の拡充と蘇州工場での増産に注力し、アジア全域でのブランドの高揚を図り、更なる増収増益を目指します。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ174億7千万円増加して、3,023億1千2百万円となりました。増加要因としては、社債による調達を行ったこと等により、現金及び預金が121億9千6百万円増加したこと、建設仮勘定が28億8千9百万円増加したこと、並びに米国以外の海外子会社におけるIFRS第16号「リース」適用開始の影響等により有形固定資産のその他が47億1千万円増加したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ147億1千4百万円増加して、1,388億6千5百万円となりました。増加要因としては、短期借入金が14億8千5百万円、未払金が17億2千2百万円それぞれ減少した一方で、新規の資金調達等により社債が145億7千3百万円増加したこと、米国以外の海外子会社におけるIFRS第16号「リース」適用開始の影響等により流動負債のその他が30億4千7百万円、固定負債のその他が24億1千6百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億5千6百万円増加して、1,634億4千7百万円となりました。主として利益剰余金が64億9千6百万円増加したものの、円高により為替換算調整勘定が32億6千2百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は53.5%、1株当たり純資産は1,570円04銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、160億7千1百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間が159億2千2百万円の資金の増加であったことに比べて、1億4千8百万円の増加となりました。これは、たな卸資産の減少及び、仕入債務の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、89億3千8百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間が35億3千2百万円の資金の減少であったことに比べて、54億6百万円が減少しました。これは、今年は昨年のように一時的な有形固定資産売却が少ないため、前年同期間と比較して固定資産の売却による収入が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、76億4千3百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間が49億7千5百万円の資金の増加であったことに比べて、26億6千8百万円増加となりました。これは主に、長期借入金返済による支出の減少による資金の増加が、社債の発行や長期借入金の借入による収入の減少を上回ったことによるものであります。

これらの増減に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額を合せますと、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて134億7千1百万円増加し、876億7千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,294	88,491
受取手形及び売掛金	48,401	48,647
電子記録債権	7,446	7,277
有価証券	595	434
商品及び製品	20,874	19,343
仕掛品	2,111	2,080
原材料及び貯蔵品	6,189	5,955
その他	8,718	8,145
貸倒引当金	△203	△247
流動資産合計	170,429	180,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,712	42,976
機械装置及び運搬具(純額)	22,982	23,338
工具、器具及び備品(純額)	5,202	5,267
金型(純額)	6,866	6,155
土地	16,843	16,472
リース資産(純額)	995	58
建設仮勘定	7,401	10,291
その他	—	4,710
有形固定資産合計	101,005	109,272
無形固定資産		
のれん	1,724	1,478
その他	1,667	1,473
無形固定資産合計	3,391	2,951
投資その他の資産		
投資有価証券	4,996	5,118
繰延税金資産	1,894	1,801
その他	3,311	3,143
貸倒引当金	△186	△103
投資その他の資産合計	10,015	9,959
固定資産合計	114,412	122,182
資産合計	284,842	302,312

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,522	19,285
1年内償還予定の社債	11,479	11,017
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	10,506
短期借入金	10,632	9,146
1年内返済予定の長期借入金	1,703	882
未払金	6,024	4,301
未払法人税等	3,775	3,248
賞与引当金	1,758	1,811
その他	11,967	15,014
流動負債合計	66,864	75,214
固定負債		
社債	20,629	35,202
転換社債型新株予約権付社債	10,512	—
長期借入金	15,836	15,967
繰延税金負債	4,449	4,154
退職給付に係る負債	3,743	3,793
その他	2,116	4,532
固定負債合計	57,286	63,650
負債合計	124,151	138,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	13,794	13,794
利益剰余金	151,864	158,360
自己株式	△10,677	△11,176
株主資本合計	162,271	168,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547	570
繰延ヘッジ損益	△9	△17
土地再評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	△2,427	△5,689
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△1,433
その他の包括利益累計額合計	△3,483	△6,563
非支配株主持分	1,903	1,741
純資産合計	160,690	163,447
負債純資産合計	284,842	302,312

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	139,484	145,315
売上原価	100,949	105,948
売上総利益	38,535	39,366
販売費及び一般管理費	23,987	24,227
営業利益	14,547	15,139
営業外収益		
受取利息	129	159
投資有価証券評価益	—	224
為替差益	522	—
その他	683	528
営業外収益合計	1,336	913
営業外費用		
支払利息	303	322
社債発行費	115	79
為替差損	—	738
その他	264	273
営業外費用合計	683	1,414
経常利益	15,199	14,638
特別利益		
固定資産売却益	1,841	37
受取解約金	438	—
特別利益合計	2,279	37
特別損失		
固定資産処分損	16	11
固定資産売却損	—	220
特別損失合計	16	231
税金等調整前四半期純利益	17,462	14,444
法人税等	5,305	4,398
四半期純利益	12,156	10,045
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,729	9,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	427	345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	22
繰延ヘッジ損益	△3	△7
為替換算調整勘定	△6,024	△3,259
退職給付に係る調整額	198	167
その他の包括利益合計	△5,675	△3,077
四半期包括利益	6,481	6,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,170	6,619
非支配株主に係る四半期包括利益	310	348

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,462	14,444
減価償却費	7,333	8,345
のれん償却額	275	187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	54
賞与引当金の増減額(△は減少)	△141	56
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	401	309
受取利息及び受取配当金	△186	△200
支払利息	303	322
為替差損益(△は益)	△441	661
固定資産売却損益(△は益)	△1,841	182
固定資産処分損益(△は益)	16	11
投資有価証券評価損益(△は益)	-	△224
売上債権の増減額(△は増加)	△1,095	△1,430
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,273	923
その他の資産の増減額(△は増加)	△692	△700
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,129	200
未払又は未収消費税等の増減額	△122	△642
その他の負債の増減額(△は減少)	752	△1,585
その他	400	265
小計	19,029	21,180
利息及び配当金の受取額	182	219
利息の支払額	△260	△303
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,029	△5,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,922	16,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△291	△951
定期預金の払戻による収入	384	1,828
有価証券の売却及び償還による収入	240	523
固定資産の取得による支出	△12,082	△11,473
固定資産の売却による収入	8,239	1,046
投資有価証券の取得による支出	△106	△87
投資有価証券の売却による収入	258	202
その他	△175	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,532	△8,938

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,256	12,724
短期借入金の返済による支出	△11,642	△13,861
リース債務の返済による支出	△94	△697
長期借入れによる収入	13,119	—
長期借入金の返済による支出	△23,102	△589
社債の発行による収入	19,884	14,920
社債の償還による支出	△839	△783
自己株式の売却による収入	163	17
自己株式の取得による支出	△139	△516
配当金の支払額	△3,336	△3,204
非支配株主への配当金の支払額	△292	△366
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,975	7,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	△972	△1,304
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,392	13,471
現金及び現金同等物の期首残高	60,663	74,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,056	87,672

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

当連結会計年度より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国基準を採用する北米子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しています。

当会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、使用権資産及びリース負債を認識しております。また、有形固定資産のリース資産(純額)に含めていた一部の資産についても使用権資産への振替を行っております。

当該基準を適用した結果、当第2四半期連結会計期間末において、リース資産(純額)が937百万円減少し、有形固定資産のその他が4,710百万円増加しています。また、流動負債のその他が1,346百万円、固定負債のその他が2,701百万円それぞれ増加しています。

なお、当該基準の適用による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	127,445	11,980	139,425	58	139,484	-	139,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29	-	29	141	170	△170	-
計	127,474	11,980	139,454	200	139,654	△170	139,484
セグメント利益又は損失(△)	15,639	1,748	17,387	52	17,439	△2,892	14,547

(注) 1. その他には、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,892百万円は、全社費用△2,919百万円及びセグメント間取引消去26百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	132,116	13,131	145,247	67	145,315	-	145,315
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	-	40	140	180	△180	-
計	132,156	13,131	145,287	208	145,495	△180	145,315
セグメント利益又は損失(△)	15,703	2,062	17,765	52	17,817	△2,678	15,139

(注) 1. その他には、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,678百万円は、全社費用△2,686百万円及びセグメント間取引消去7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。